

広報

ふじ

56.7.5

No.322

走れ走れ

ゴールめざして

福祉団体の合同体育祭



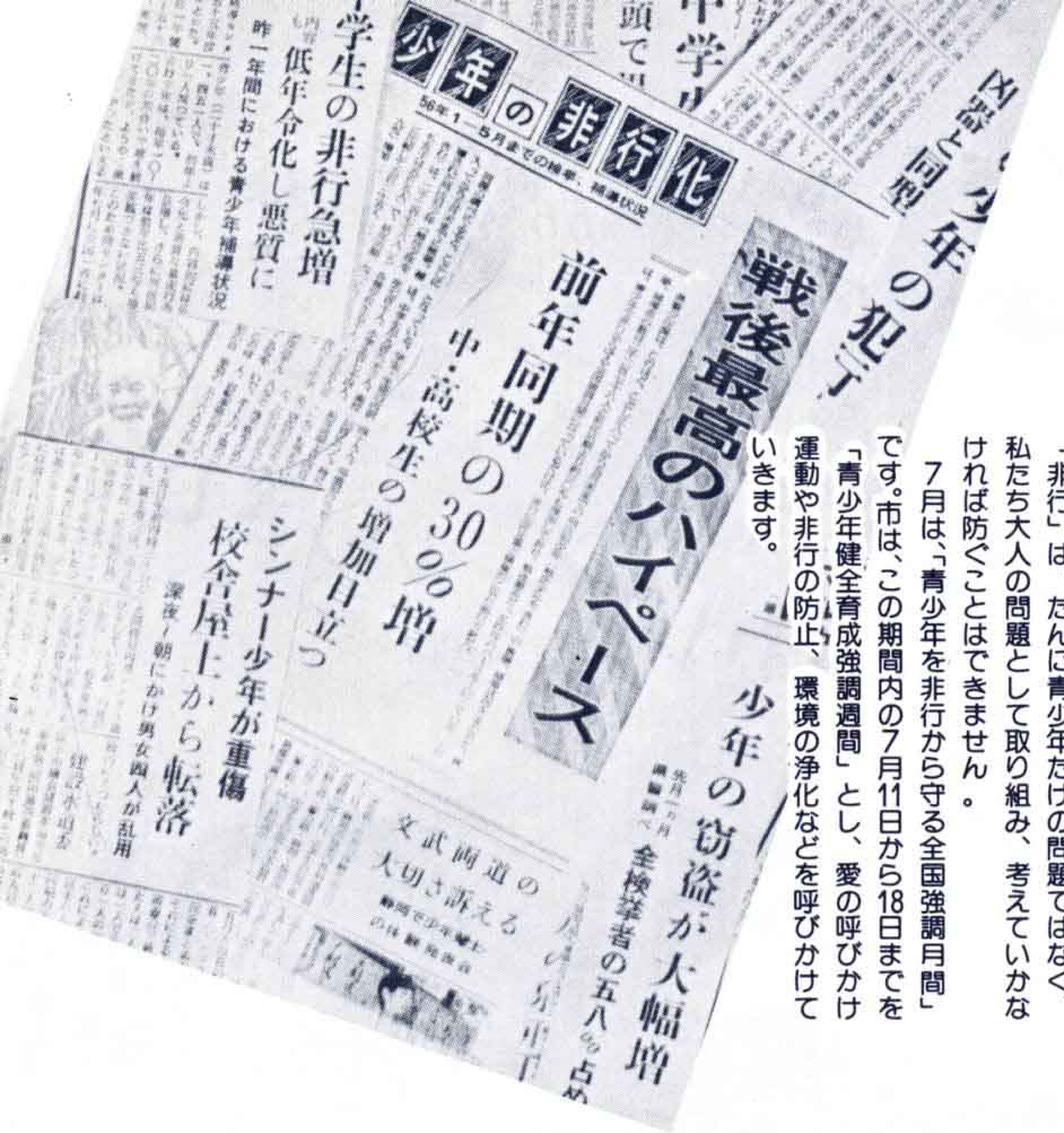
遊び型非行の増加

親の「そのくらいは…」が子をダメにする

青少年の非行がますます増え、低年齢化しています。これは、全国的な傾向ともいわれています。青少年を取り巻く社会環境、家庭における教育機能の低下、受験競争からの落ちこぼれ……。原因はさまざま。

「非行」は、たんに青少年だけの問題ではなく、私たち大人の問題として取り組み、考えていかなければ防ぐことはできません。

7月は、「青少年を非行から守る全国強調月間」です。市は、この期間内の7月11日から18日までを「青少年健全育成強調週間」とし、愛の呼びかけ運動や非行の防止、環境の浄化などを呼びかけていきます。



一昨年の53%も増える

「最近の少年非行は、お金や品物を欲しいという欲求解消型ではなく、スリルを楽しむための、いわゆる遊び型非行が多くなっている。」

さらに、「悪いことをしてしまったという、罪の意識は、ほとんど持っていない……」と富士警察署では話しています。

このような傾向は、子どもたちだけでなく親にもあり「そのくらいの事は」という考えが、子どもにも影響している——ともいっています。

昭和55年度中に、富士警察署管内で検挙補導された少年は486人。

前年の317人に比べ、169人（53%）も増加しています。

非行の内訳は、「窃盗犯」が最も多く455人で、全体の94%を占め、つぎに「知能犯」、「粗暴犯」の順となっています。

早いうちにつみ取れ

これを年齢別にみると、14歳から15歳までが最も多く174人で36%、次に14歳未満が154人で32%になっています。

「窃盗犯」の中では、「万引き」が一番多く281人で62%、つぎに「オートバイ盗」が62人で14%を占めています。

このほか、不良行為として補導された少年は、1,771人もいました。

そのうちで一番多いのが「喫煙」の695人。つぎに「深夜はいかい」の434人、「暴走行為」、「不健全娯楽」の

非行防止に「愛の呼びかけ運動」

青少年健全育成強調週間 7月11日～18日

「青少年の健全育成強調週間」に市及び警察署などは、愛の呼びかけ運動や非行の防止、環境浄化などの啓蒙活動を行います。

青少年の健全育成のために、身の回りの環境や日ごろの生活について、見つめ直してみましよう。

強調週間の事業内容としては、7月11日が、吉原一中を中心に市内パレードと広報活動

12日から14日までが、広報車による呼びかけ運動。

16日が、「市民教養講座」教育を考えるをテーマに、富士文化センターで夜7時から講演会を行います。

と き	活 動 内 容
7月11日(土)	吉原・伝法の市街地を中心とした啓蒙活動と地区巡回広報活動
" 12日(日)	地区巡回呼びかけ運動
" 13日(月)	"
" 14日(火)	"
" 16日(木)	講演 教育を考える——今日の青年をみて—— 東海大学教授 山口房雄氏
" 17日(金)	シンポジウム (青少年非行とその対応) 東海大学教授 今村義正氏
" 18日(土)	県下一斉青少年補導

順です。

これらは、あくまでも補導された数字で、実際にはこの10倍とも30倍ともいわれています。

補導された多くの少年たちは、初めて補導されたというケースがほとんどで、2度・3度というのはあまり見られないそうです。

このようなことから、非行は早いうちに見つけ、注意を与えれば防げ

る——といえます。

富士警察署防犯少年課の佐野係長は、「日ごろから、親が子どもに目を配り、買い与えていない物を持っている場合は、詳しく聞いてみる…などの心掛が必要です」と話しています。

いずれにしても子どもは、親の行動をよく見えています。大人が正しい行動をしていなければ、子どもに注意をすることもできません…。



社会環境の改善を…

市補導センター 図書自販機の監視員を置く

青少年の非行の原因として、家庭内での対話不足・社会環境の悪化・学校での授業についていけない落ちこぼれなどがあげられています。

非行は、ある日突然に起こるものではありません。

少しずつ、非行の道へ入りこんでいき、やがてそれがエスカレートする形になります。

市青少年補導センターは、青少年

に対する社会環境をよくするために、有害雑誌や俗悪ポスターの追放運動、青少年を守る環境浄化推進地区の指定などを行っています。

有害図書が販売されることを防止するため、図書自動販売機の収納状況を監視する「監視協力員」を置き有害図書に関する監視を強めていきます。

青少年の非行防止は、関係者だけでなく、市民1人1人が関心を持ちお互いに声をかけあうなどの、心のつ

ながりが大切です。

家庭は、子どもの人格をつくる上で、最も大切な場であるといわれているように、親と子が何でも話し合える明るい家庭からは、非行の芽は出ません。

放任家庭は、非行の原因ともいわれています…。

非 行 問 題

ぼくらの声

親は子を半分信じる!

非行とは、そもそも一般常識はイチオウ頭の中には入っていないものの、少し「メダチタイ」という好奇心が自分を甘やかして、欲求を満たすということだと思ふ。自分をコントロールすることができれば、少しはビントがずれても心配はないと思ふ。親は子を半分は信じてもよいと思ふが、後の半分は大人になるまでの段階をふませるべきだ!
(高校三年生 男子)

根っから悪人はいないはず

今の大人の感覚としては外見だけで人間の偏見にしかすぎない。いくら服装が乱れていても根っから悪い人間はいないはずだ。
しかし世間の人々を一方的にせめることはできない。それは世代のずれによって生じた感覚の違いでしかたないことかもしれないが、もう少し私たちのことを信じてほしい。
(高校三年生 男子)

もっとコミュニケーションを

高校では、生徒と教師双方の一方通行的な意見と考えが意外に多いのではないかと思ふ。この様な事も、生徒に対する行動の束縛や自由、生徒の日常の行動に大きな影響を与える原因の一つになつて

いるのではないだろうか、家庭内にも同じ様な事が言えると思ふ。これらの為にも普段から生徒と教師、親と子のコミュニケーションを行えば良いと思ふ。
(高校二年生 男子)

自分の意志を強く

裕福な社会＝非行
一般に学生の青春は何か熱中し悔いなく充実した日々を送る時に、非行に走りどんな徳があるのだろうか。中途半端な青春を送り良い思い出を残すことは不可能だ。非行は善悪を判断し誘惑に負けず自分の意志が強ければ必ず立ちなおれると思ふ。
非行をなくすために多くの人が考える必要があるのだ。
(高校二年生 女子)

取材を終えて——もつともつと私たちの声を聞いて、という声がたくさんありました。



高校3年
木内芳和君



高校2年
渡辺則江さん

地震発生

2週間程度の対策を示す

どう対処する…

「地域防災計画」第5編が完成

予想される東海地震対策として、市防災会議は昨年2月、「地域防災計画 東海地震対策編」をつくりましたが、このたび、その続編として、地震発生後の対策編である第5編を作成。

この計画は、地震発生後2週間程度の対策を示したものです。

昭和53年の宮城県沖地震

市民総ぐるみの 応急活動で

大震法（大規模地震対策特別措置法）に基づいた、「地域防災計画 東海地震対策編」は、平常時対策から警戒宣言時の応急対策までを、第1編から第4編で構成。

内容としては、市の活動を始め、防災関係機関、事業所、自主防災組織及び市民などが、予想される東海

地震に備えて、どのように対処するかの基本方針を示してあります。

今回、作成されたのは第5編で、東海地震発生後の災害応急対策にあたるための、基本方針を示してあります。

その主な内容としては、人命の救助、災害の拡大防止、地域への救援を柱に、情報の収集伝達、緊急輸送、パニック防止等を掲げています。

これは、いわゆる自主防災組織を中心として、事業所、一般市民及び高校生まで、市民総ぐるみの災害応急活動を示したものです。

なお、この計画は、状況の変化に対応できるように、必要に応じ見直しをすることもできます。

この第5編が作成されたことにより、「地域防災計画 東海地震対策編」は、すべて完成されたこととなります。



夏休みの宿題に資料を

（おたずねします）

毎年、夏休みの宿題を計画だてやるように指導するのですが、休み

が終る頃になってじたばたするのが常です。

そこで今年こそはじたばたしないようにさせたいと考え、今から何か適当な学習資料がないかと思っています。特に富士市のことについて調べられるような資料があったら教えてください。（岩松Tさん）

（おこたえします）

市広報広聴課に、市の人口の移り変わりや産業、公害、消防、交通の状況などいろいろな資料があります。

これらの統計資料をまとめた「富

士市の統計」を作成し、これは実費（1部250円）でおわけしています。

また毎年、夏休みに市役所10階の北側予備室で「夏休み学習資料の公開と研究相談」を行っています。

これには、学校の先生がアドバイザーとして出席し、相談に乗っています。今年も7月27日（月）から31日（金）まで、毎日午前9時から午後4時まで行います。

このうち先生が出席する日は、28日と29日の午前9時から午後3時までです。ご利用ください。

（広報広聴課）



情報の収集 被災者の救出

“第5編、は、第1章から第14章までで構成されていますが、そのうちの第1章、6章、7章、10章の主な点をあげてみます。

第1章は、防災関係機関の活動として――。

地震が発生した場合、市は災害対策本部を設置します。

市職員は、指定された場所に集合し、情報の収集及び伝達、被災者の救出にあたります。

災害対策本部が設置されると、必要に応じ、防災会議が開かれます。

第6章は、災害の拡大防止活動として――。

消防活動について、市民・自主防

災組織及び事業所は、可能な限り出火防止活動、初期消火活動を行い、お互いの協力によって、火災の拡大を防ぐ…。

津波や河川の出水が予想される場合、本部長及び市職員・水防団長及び団員は、区域の住民に対して、避難の呼びかけを行う。

市は、救出を必要とする負傷者に対して、職員を動員又は、関係機関に呼びかけ、救出活動を行うとしています。

さらに実践的 資料を作成

第7章は、市民の避難及び避難生活の基本を示した、避難活動。

避難の方法としては、火災の延焼拡大・津波・山崩れの危険が生じた場合、市民は、あらかじめ指定された安全な場所に避難する――としています。

第10章は、地域への救援活動として――。

日常生活を営むことが困難となった場合、被災者に対して緊急物資の確保・給水活動・燃料の確保など、市や自主防災組織が行う対策を示しています。また、医療救護活動・防疫活動についても――。

市は、この“対策編、を基本方針として、今後さらに、実際に十分な機能を果たせるよう、資料づくりを進めていきます。

人命の救助が第一



荒田島2丁目
自主防災会々長
小池龍男さん
(58歳)

地震が発生したら、まず人命の救助を第一に、それから飲料水を確保することじゃないかな。

食糧は、3日分位を確保しておけばいいのでは…。

避難するには、隣近所まとまっていた方がいいと思う。それに、ケガをしないようにすること。

とにかく、日頃の訓練が大切だね。

自分の身は自分で



天間北一区
鈴木清さん
(68歳)

日頃の心構えができていれば、被害は最少限に食い止められるはず。

子どもの頃、東京で関東大震災を経験したので、ロープ・ヘルメット消火器などの7つ道具は、すぐに持ち出せるように置いてあるよ。

地震発生を予知することは、なかなかむずかしいことだと思う。自分の身は、自分で守ることが第一だね。

あの街



わが街



昭和46年に、
長野県から富士市に
来られた、緑ヶ丘の
上條啓子さん
(34歳)

――長野のどちらから…。

上條 信州松本からです。城下町で落ち着いたところですよ。城がすべての中心といった感じなんです。

――富士市に望むことは。

上條 富士市にも中心となる核がほしいですね。施設はたくさんあるようだけど、散在しているって感じ。

もっと人々のこころの中心になる、なつかしさが湧くような大公園を！ドカッと中心に緑を配置して、いろんな文化施設もあって、市民が気軽に集まれるようなところが…。

――大構想ですね。

受講生募集

富士市民大学

生活文化をみよめおかげ

物から心への転換が叫ばれている
このごろです。

市は、文化の振興をめざした施策
を積極的にすすめています。

その一環として、今回これまでの
各種講座とは異なった、内容豊かで
程度も高い、文化を中心とした市民
大学講座を開きます。

市民のみなさん受講してみませんか。



文化の芽が伸び なかった、なぜ？

富士市は、自然環境に恵まれた中
で製紙産業を中心とした工業都市と
して発展し、現在の20万都市になり
ました。

この間、災害や、環境汚染など多
くの問題を克服しながらひたすら物
の豊かさを追求してきました。

この結果経済活動の活発なまちと
なりましたが、心豊かな人づくりと
いう面では、やや不足していたよう
に思われます。

富士にもある たくさんの素材

市民の誇りである富士山、世界で
も有数の深さをもつ駿河湾。この恵
まれた自然環境から生まれた風土と
歴史・伝統・人的資源など、文化を
発展させる素材には恵まれています。

しかし残念ながら、それらが市民
共通の意識として認識されていなか
ったように考えられます。

視野を広げる 役に立てば...

そこで富士地域固有の生活文化を
広い視野に立って、もう一度見つめ
直し、産業文化都市としてのイメー
ジづくりと、富士に住むことを誇り
とする人づくりに役立てようと企画
したのが市民大学講座です。

講師陣は、それぞれ一流の専門家
ばかりで、地方都市では簡単にお招
きできない方々です。

市民のみなさんの受講をおまちし
ます。



生活文化の殿堂市立博物館

応募あんない

◆学習期間と時間

9月2日(水)～11月18日(水)までの間12回
18時30分～20時30分(開・閉講式は18時から)

◆対象者

富士市に住んでいる一般成人者

◆募集人員

200人(定員になりしだい締切ります)

◆受講料

5,000円(テキスト代を含みます)

◆申し込み方法及び申し込み先

受講料を添えて社会教育課・各公民館・富士文化センター・吉原市民会館へ申し込んでください。

申し込み用紙は申し込み先に用意してあります。

◆受付期間

8月1日(土)～8月10日(月)

◆特別講座の受付

特別講座(2回)の受講生は後日募集します。

受講料は有料になります。

◆その他

受講生には受講証と一定の講座を受講された方に
修了証書をさしあげます。

◆問い合わせ先

教育委員会社会教育課 ☎51-0123内線453

※10月28日には、渡辺市長が「富士市政の課題と展望」について講演します。

回	月日	会場	テーマ	講師	学習内容
1	9月2日(水)	富士文化センター (第1.2.3会議室)	地域社会と文化	文化庁長官 佐野文一郎	開講式 現代は「文化の時代」であり、そして「文化の時代」とは同時に「地方の時代」といわれているがそれはどういうことなのだろうか。
2	9月9日(水)	富士文化センター (第1.2.3会議室)	シルクロードの旅 (そこに日本文化 のルーツを見た)	NHKシルクロード チーフカメラマン 野口篤太郎	<ul style="list-style-type: none"> ・人為的に閉ざされていた中国西域について ・広大な面積とその風土 ・極乾の地、故に残された文化遺産 ・オアシスに生きる人々 ・ここが日本と無縁でない理由
3	9月16日(水)	富士文化センター (大ホール)	資源問題から見た 日本経済の展望	法政大学教授 力石定一	特別講座 巨大な消費国ニッポンが生きのびる道は……成長軌道の選択・エネルギー・ゼロ成長社会の経済構造・発展途上国の経済自立の条件・企業の社会的責任など、岐路に立つ日本経済に根本からメスを入れる。
4	9月25日(金)	富士商工会議所 (大会議室)	飛鳥文化の源流	京都大学教授 上田正昭	日本文化のなりたちには「和魂漢戈」の要素が濃厚である。飛鳥文化も例外ではなかった。飛鳥文化の源流をたずねてその実相をみきわめる。
5	9月30日(水)	吉原市民会館 (第1会議室)	富士山と日本人	東京大学教授 芳賀徹	富士山とは日本人にとって、また日本文化にとって一体何であったろうか。その問題を古今の詩歌と絵画、主として北斎の「富嶽三十六景」を通して考え直す。
6	10月7日(水)	吉原市民会館 (大ホール)	テレビと小説	作家 平岩弓枝	特別講座 テレビと小説のドラマづくりの違いや、その舞台裏の話をないまぜながら、これまでの約20年間にわたる作家生活のなかで、出会った人々や忘れられない事どもについて語る。
7	10月14日(水)	吉原市民会館 (第1会議室)	科学的に見た富士山 (プレートテクト ニックスと富士の 謎)	駒沢大学教授 木澤 紘	富士山は日本のシンボルであり、誇りである。身近にいる私たちは改めて富士山を科学的な面から見つめ直し、その神秘を謙虚に学ぶ。
8	10月21日(水)	同上	駿河湾のなぞ	東海大学教授 星野通平	駿河湾はその地形、そこに住む生物などに極めて独特な特徴が見られる。今日的な問題となっている大地震の問題に展望をあたえる駿河湾を正確に知る。
9	10月28日(水)	同上	運慶の謎	静岡大学教授 若林淳之	松岡瑞林寺に運慶の作と伝えられる仏像がある。これを伝来した者は誰か。伝来した人は運慶の作であることを知っていたのか。当時の開拓、開発の文化的考察も合わせて考える。
10	11月4日(水)	同上	紙の旅	県無形文化財 和紙研究家 後藤清吉郎	紙の起源とその経路。古代人類は洞窟や亀甲に狩猟や生活の記録を残した。人間独特の行為である文化を紙の起源と紙の世界に広められた記録をみつめる。
11	11月11日(水)	同上	映画「典子は今」と私	シナリオ・ライター 松山善三	<ul style="list-style-type: none"> ・映画はどのように作られるか ・主題と主演者 ・国際障害者年の意義 ・これからの映画 ・映画を見る姿勢
12	11月18日(水)	同上	アジアにおける 日本の立場	東海大学教授 林 建彦	閉講式 アジアの平和を維持し、友好、連帯を促進するため、日本人はこれらの国々の政治・経済・教育・文化・科学などの発展のため何をなすべきか考える

富士まつり 8月3日・4日



富士山ながめて
オチャチャのチャ

夏のよびもの、「富士まつり」の季節となりました。

子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで、みんなそろって「富士ばやし」を歌って踊ってイイ汗かいてみませんか。

◇8月3日（月曜日）

- 子どもみこし大会（17:00~18:30）
市内各小学校区で子ども会によるみこし大会 区
- おどり大会（19:00~20:30）
市内各小学校区のみなさんによるおどり大会
- おどり行進（19:00~20:30）
富士本町通りで駅北地区のみなさんのおどり行進

◇8月4日（火曜日）

- 音楽パレード（15:00~18:00）
4地区中心街を各団体が音楽パレード
- 子どもみこしパレード（16:00~18:30）
5地区中心街で子ども会などがみこしパレード
- おどり行進、おどり大会（19:00~20:30）
4地区中心街でみなさんによるおどり行進

◇協賛行事

8月3日、4日 各団体や商店会などが、多彩な行事を予定しています。

スポーツ教室を開設

◇親子水泳教室

- ・開設期間 8月6日~9日（4日間）
9:00~11:30 小雨決行
- ・ところ 吉原小プール
- ・対象 5歳~9歳（小学校3年生）までの子どもとその親で泳げない人（親子で60組）
- ・受講料 無料
- ・申込み 7月30日、31日に保険料1人50円を添えて市スポーツ振興課へ

◇婦人水泳教室

- ・開設期間 8月1日~5日（5日間）
10:00~12:00
- ・ところ 吉原一中プール
- ・対象 初心者（50人）
- ・受講料 1,000円（保険料を含む）
- ・申込み 7月28日までに住所、氏名、年齢、電話番号をハガキに記入し、〒417 市内永田61-1 市教育委員会スポーツ振興課へ

◇テニス教室（軟式）

- ・開設期間 8月1日~11月30日（16回）
毎週金曜日（18:00~21:00）
- ・ところ 富士高テニス場
- ・対象 初心者（70人）
- ・受講料 3,500円
- ・申込み 7月28日までに住所、氏名、年齢、性別、電話番号をハガキに記入し、〒417 市内伝法1994-13 齊藤方 富士軟式庭球協会へ
- ・問い合わせ 市スポーツ振興課
☎51-0123 内線457

犬の公開取締まり

畜犬の公開取締まりを、7月21日~23日まで3日間市内全域で行います。

最近、犬の放し飼いによる苦情が多く寄せられています。飼い主は、飼い犬の管理を適正にし、他人に迷惑をかけないようにしましょう。



緑の羽根募金報告

緑の羽根募金にご協力いただきありがとうございました。

募金の収益金は、富士市緑いっぱい市民の会の事業収入とし「市民の森」（広見公園内）に植樹しました。

※収益金

52万3,000円



公害防止管理者

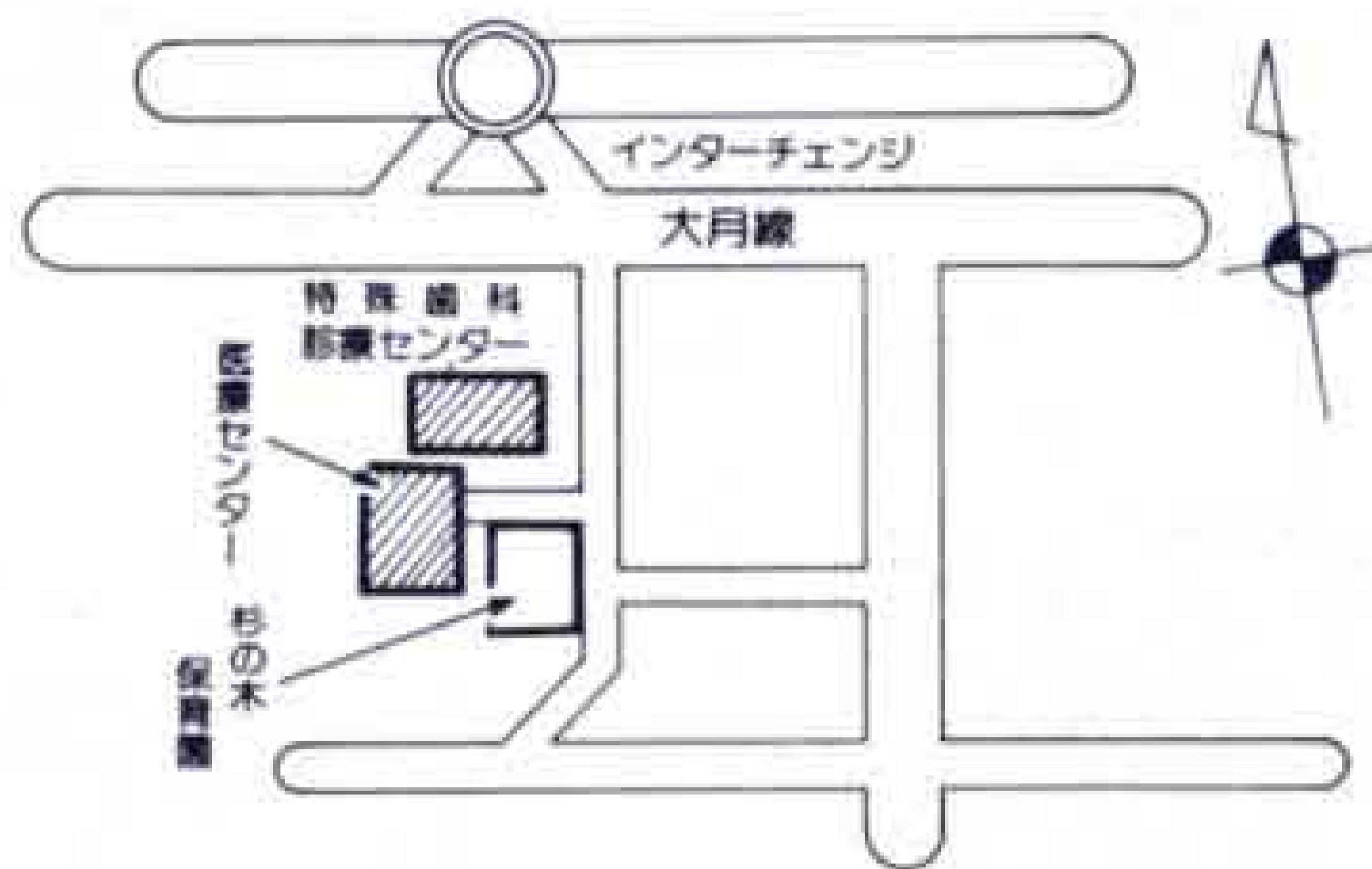
資格認定講習会

県は、公害防止管理者資格認定講習会を静岡県庁で開きます。

- ・とき
大気関係（第2種、第4種） 8/31~9/2
水質関係（第2種、第4種） 9/7~9/9
- ・申込み 7月13日~25日（23日消印有効）
詳しくは、県生活環境部大気保全課
☎0542-21-2254又は市公害課、富士商工会議所へ

健康大学講座の受講生募集

市健康課は、市内に居住する18歳以上の男女を対象に、健康大学講座の受講生を100名募集します。
 ◇開設期間 8月11日～12月8日（毎週火曜日13:30～15:30）



- ◇ところ 富士市医師会館(伝法長者町医療センター内)
- ◇受講料 1,100円(テキスト代)
- ◇内容 各科専門医による講話、歯の衛生、運動のすすめ、救急処置、栄養の知識、家庭看護法
- ◇申込み 7月31日までに電話で市健康課保健指導係へ
 ☎51-0123 内線316 健康課

いっせい防疫

月日	午前	午後
7月20日(月)	森島	森島
21日(火)	上横割 十兵衛南	下横割北 柳島日東
23日(木)	宮下	柚木
24日(金)	下横割南	上五貫島 下五貫島
27日(月)	西宮島 千鳥町	東宮島 助六
28日(火)	靖国	三四軒屋 自由ヶ丘
	宮島新田	浜添
30日(木)	中丸	新浜 富士見ヶ丘
31日(金)	江川 柳島	川成島 小須
8月3日(月)	前田 田子	前田新田 鮫島
4日(火)	橋下	四丁川原上 四丁川原下
		四丁川原西 東芝四丁川原

夏の交通安全運動 7月15日～28日



7月の休日当直医

休日当直医は富士市医師会が、急病者のために定めたものです。
 急病のときだけご利用ください。

- ◇7月5日
 外科 望月医院 61-8075 本市場
 " 吉原病院 52-0780 南町
 産婦人科 池田医院 21-2228 石坂

- ◇7月12日
 外科 中央病院 61-8800 本市場
 " 快明堂医院 51-0301 中央1
 産婦人科 池谷医院 61-0873
 水戸島本町

- ◇7月19日
 外科 藤井医院 61-7811 松岡
 " 芦川病院 52-2480 中央2
 産婦人科 武田医院 63-5122
 宮島

- ◇7月26日
 外科 神谷医院 61-5900 川成島
 " 渡辺病院 51-3751 錦町1
 産婦人科 鈴木医院 52-1712
 今泉1

※内科・小児科は医療センターで、
 歯科は歯科医師会館で行います。
 平日当直医は、ダイヤル市政案内
 ☎52-1111をご利用ください。

レントゲン間接撮影

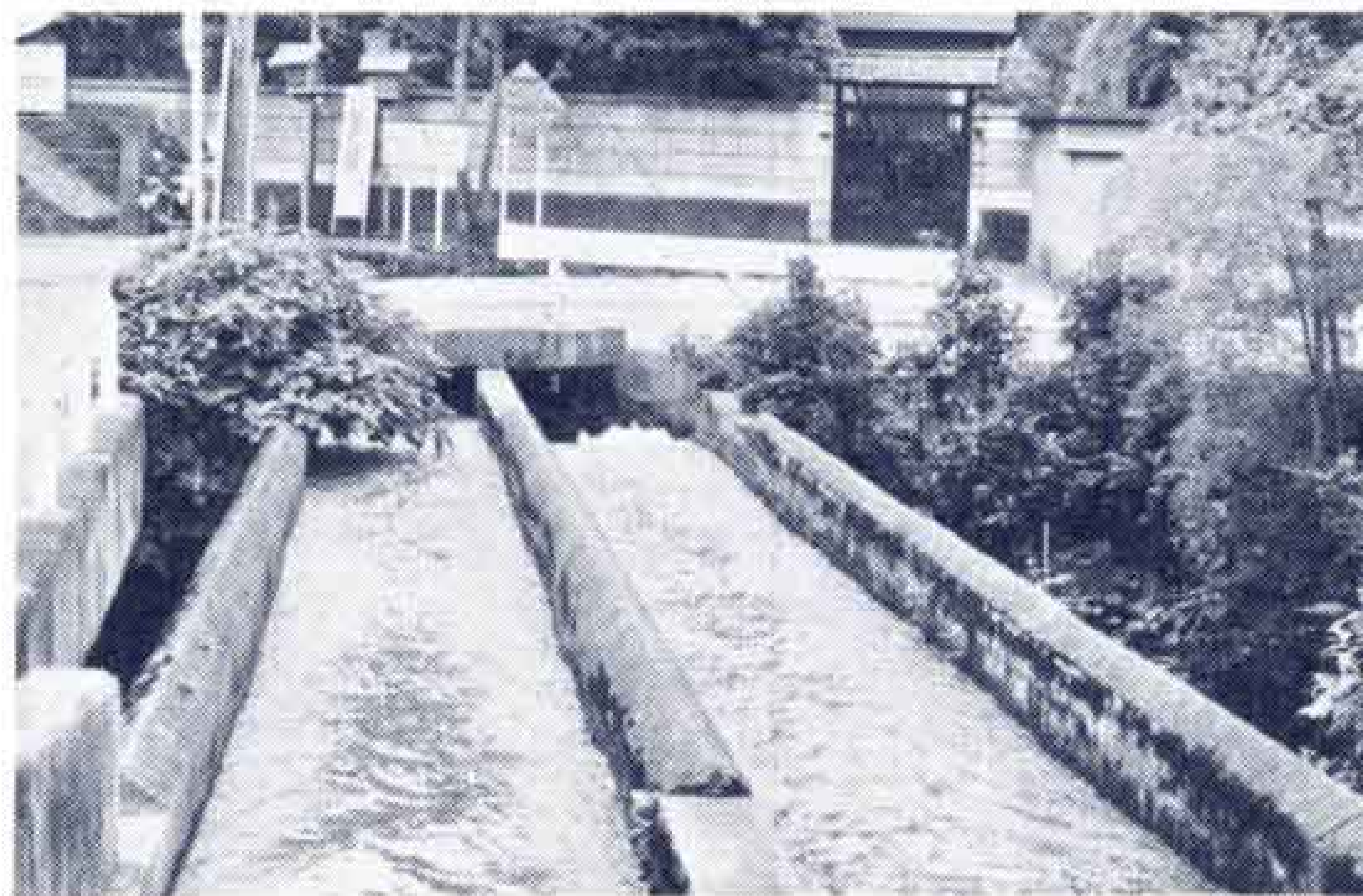
実施月日	実施会場	実施時間	該当地区
7月13日(月)	今井公会堂 (毘沙門天境内)	10:00～12:00	今井東町、今井毘沙門町
		13:00～15:00	今井本町
14日(火)	富士見台市営住宅 第一集会所前	10:00～12:00	富士見台12、三ッ沢3
		13:00～15:00	富士見台3.4.5.6.7.
15日(水)	勢子辻青少年の家	10:00～10:30	内山町、勢子辻
	桑崎作業所	11:20～12:00	桑崎、千束
	今宮作業所	13:30～15:00	今宮
16日(木)	神戸公民館	10:00～12:00	神戸12
	一色園	13:30～15:00	一色
17日(金)	石井作業所	10:00～10:30	石井町、陽光台
	鶴無ヶ淵公民館	10:50～12:00	鶴無ヶ淵
	間門公会堂	13:30～15:00	間門
20日(月)	大久保作業所	10:00～11:00	大久保町
	中野2公民館	11:10～12:00	中野町2
	大淵公民館	13:30～15:00	中野町1
21日(火)	城山町公会堂	10:00～11:30	城山町
	稲垣敏明宅 (稲垣電気西側)	13:00～13:45	八王子町1
	秋山栄作宅 (落合東公民館入口)	14:00～15:00	落合町
22日(水)	法蔵寺	10:00～11:30	三ッ倉町
	片倉作業所	13:00～15:00	片倉町
23日(木)	勝又高宅	10:00～11:30	穴原町1
	竹川俊次宅	13:00～13:50	境町、大峯町
	渡辺芳弘宅	14:00～15:00	穴原町2
24日(金)	大富町公会堂	10:00～11:00	大富町
	次郎長作業所	11:10～12:00	次郎長町
	藤田佳弘宅	13:30～15:00	八王子町2

※注意事項は15日発行の[くらしのたより]をごらんください。

ふるさとのお話

農業 への努力

その1



凡夫川にかかる二本樋

用水路の開発と二本樋

水田に水がほしいという人々の願いは強く、新しい用水路をつくる努力が村々で続けられました。

古郡氏3代の50年あまりの苦勞と努力とによって「雁堤」が完成してからは、その東・南側の広い地域の村々に、根田堀や上堀・中堀・下堀などの用水路がひかれていきました。

こうした土木工事を行うために、郷土の人達は、和算を学び土地の開発や改良に役立てていったのです。

加島5千石として栄えた陰には、はかり知れない努力があったのです。

一方、富士山のすその地方にある厚原や伝法付近も、日照の害が多く、

水が不足して困っていました。

今から800年程前、山梨県から移り住んだ植松兵庫之介信継という人は、潤井川から水を引くことを考えました。

そして、巾2俵から5俵、長さ6間の伝法鷹岡用水をつくったのです。

途中には、凡夫川という深い沢があります。長さが50俵もある木で作った掛どい二本で用水を渡すことに成功しました。これが二本樋です。

それからは水を奪いあう「水あらい」もなくなり、この用水路に沿って厚原、伝法などの村々は発展していったのです。

都市化はすすんでも…



樋代官植松家の
子孫 植松卓穂さん
厚原西(58歳)

樋代官といわれた最後の人から数えて私が4代目になります。でも代々直系でないため昔のことはあまり伝承されていません。

これから都市化がすすむほど用水路の役割も変わって来るとは思います。昔の人々の努力の遺産として残しておきたいですね。



久沢367の4
佐野千佳志さん

表紙のことば

つゆ空の6月28日、第1回富士市三福祉団体合同体育祭が、吉原小の校庭で開かれ400余人が参加しました。

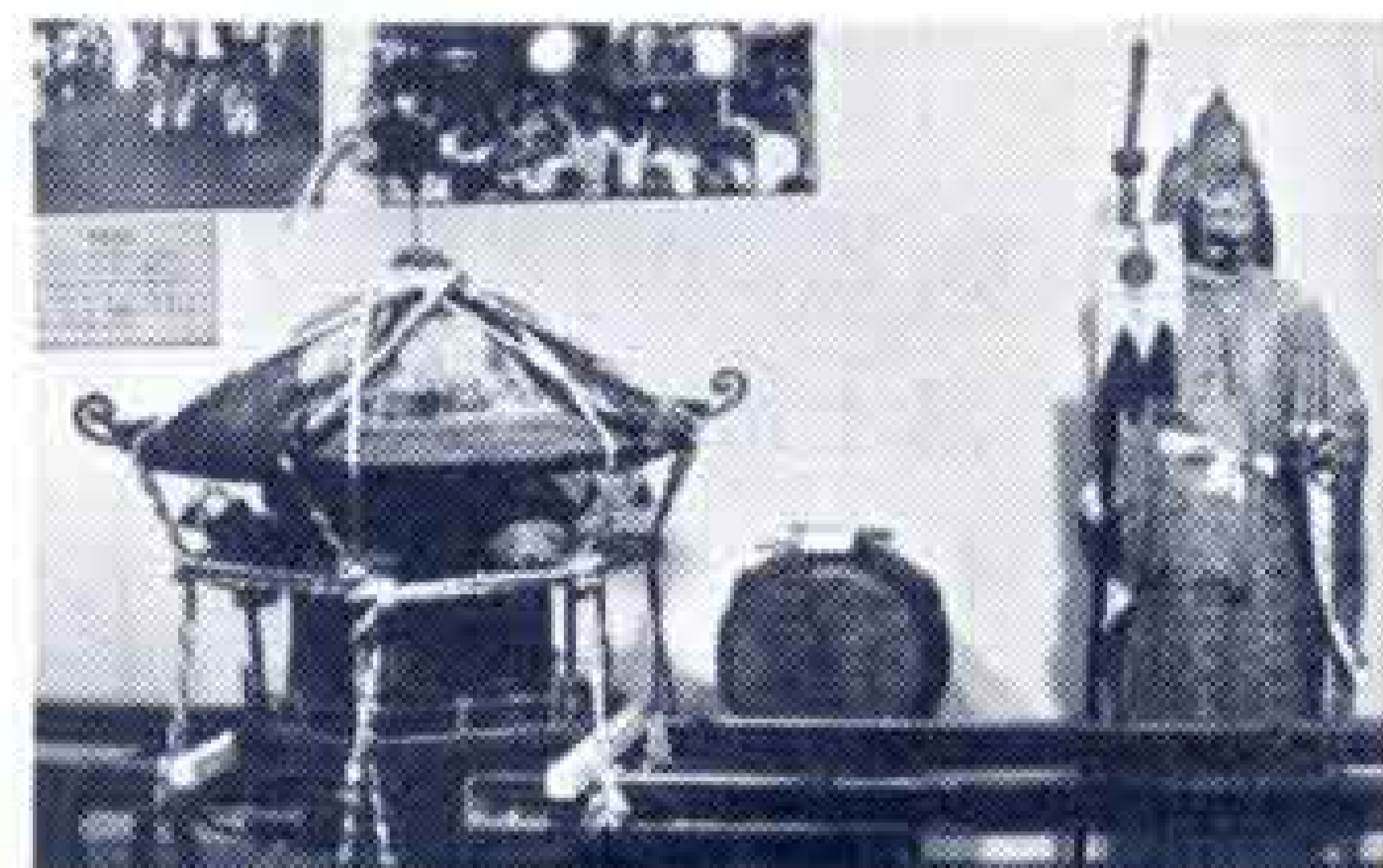
この大会は、富士市身体障害者福祉会等が、国際障害者年を記念して開いたものです。

競技は、100俵競走や綱引き等16種目。車いす競走に出場した久沢 佐野千佳志さん 32歳は「私たちは、心や身体に何等かのハンデ・キャップを持っています。自ら努力することは勿論ですが、皆さんのご理解を…」と語ってくれました。

市立博物館 展示物

紹介

天王さんのみこしとてんぐ



御輿をかつぎ町内を練り歩く天王さん(祇園祭り)は、京都八坂神社の牛頭天王(スサノオノ尊)をまつっています。夏に向かって、悪い病気を防ぐことから始まりました。荒みこしの多い中で、本市場八坂神社のこれは、黒の漆塗りと六角形が特徴です。また、この天狗は、おかめひょっとこと共に御輿の先導をつとめました。

樋代官長屋門



植松家は代々樋代官として、鷹岡伝法用水の管理を行なってきました。表門であるこの長屋門は江戸末期の建立とされています。

寄贈をうけて移築復元し、当時の生活資料と共に展示しています。